

第四回農楽塾 春期講師プロフィール 群馬オペラアカデミー 2016

■ 中嶋彰子 / ソプラノ（ヴォーカル・テクニク、語学）



シドニー大学・音楽院卒業。90年、全豪オペラ・コンクールで優勝。同年、シドニー・オペラハウスとメルボルン・オペラでデビューを飾る。92年にはサン・カルロ歌劇場にてヨーロッパデビューを果たし、ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約を結んだ99年からは、日本での本格的な活動もスタートする。2012年以降はプロデュースや演出にも力を入れ、2014年には、よみうり大手町ホールで開催された「モーツァルトハウス・ウィーン in ジャパン 2014」で総合企画監督を務め、高い評価を得る。2016年には中嶋彰子プロデュースの舞台作「夢幻能 一月に憑かれたピエロ」がシオン国際音楽祭への出演を予定している。第14回「出光音楽賞」受賞。モーツァルトハウス・ウィーン、アーティストティック・アドバイザー。2016年度よりウィーン私立音楽大学声楽課非常勤講師に就任予定。群馬オペラアカデミー農楽塾（のうらじゆく）総監督。ぐんま観光特使。

■ エリック・マカニック / ピアニスト（コレペティートル）



ワシントンD.C. 生まれ。12歳からヨーロッパとアメリカ各地でピアノ演奏者としての活動をスタート。1989年には、ファビオ・メケッティ指揮の下、ケネディーセンターにてワシントン・ナショナル交響楽団と共演し、オーケストラデビューを果たす。メリーランド大学音楽学部卒業後、ドイツ・ヴュルツブルグ音楽大学のマスターコースにて舞台伴奏者としての単位を修得。その後、ソリストとしての活動を続けながら、11年間ニュルンベルグ音楽大学で伴奏科の講師を務める。2007年よりウィーン・フォルクスオーパーの専属コレペティートルに就任。歌手のコーチや演出稽古のピアニストとして活躍している。

■ 十川稔 / オペラ演出家（スズキメソッドによる演技指導）



大阪大学文学部に学ぶ。1975年 SCOT 入団。鈴木忠志演出のギリシャ悲劇、シェイクスピア等を演じ、20カ国70都市に及ぶ海外公演に参加。1994年オペラの演出に携わり、錦織健プロデュース『愛の妙薬』『セビリアの理髪師』『後宮からの逃走』、米パーム・ビーチ・オペラ『蝶々夫人』、千住明『滝の白糸』等、モーツァルトを中心にバロックから現代まで数多くのオペラを演出。二期会オペラ研修所、東京藝術大学等で舞台演技を指導。